

郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

magazine kobekko

july

1966 no, 63



RIKOISJ

神戸っ子 昭和四十年一月二十日第三種郵便物認可 昭和四十一年六月十五日印刷 通巻六十三号 昭和四十一年六月十五日発行 毎月一回十五日発行

真珠の代名詞

ミキモト

世界のどこへ行っても

ミキモトの名は

真珠を代表する

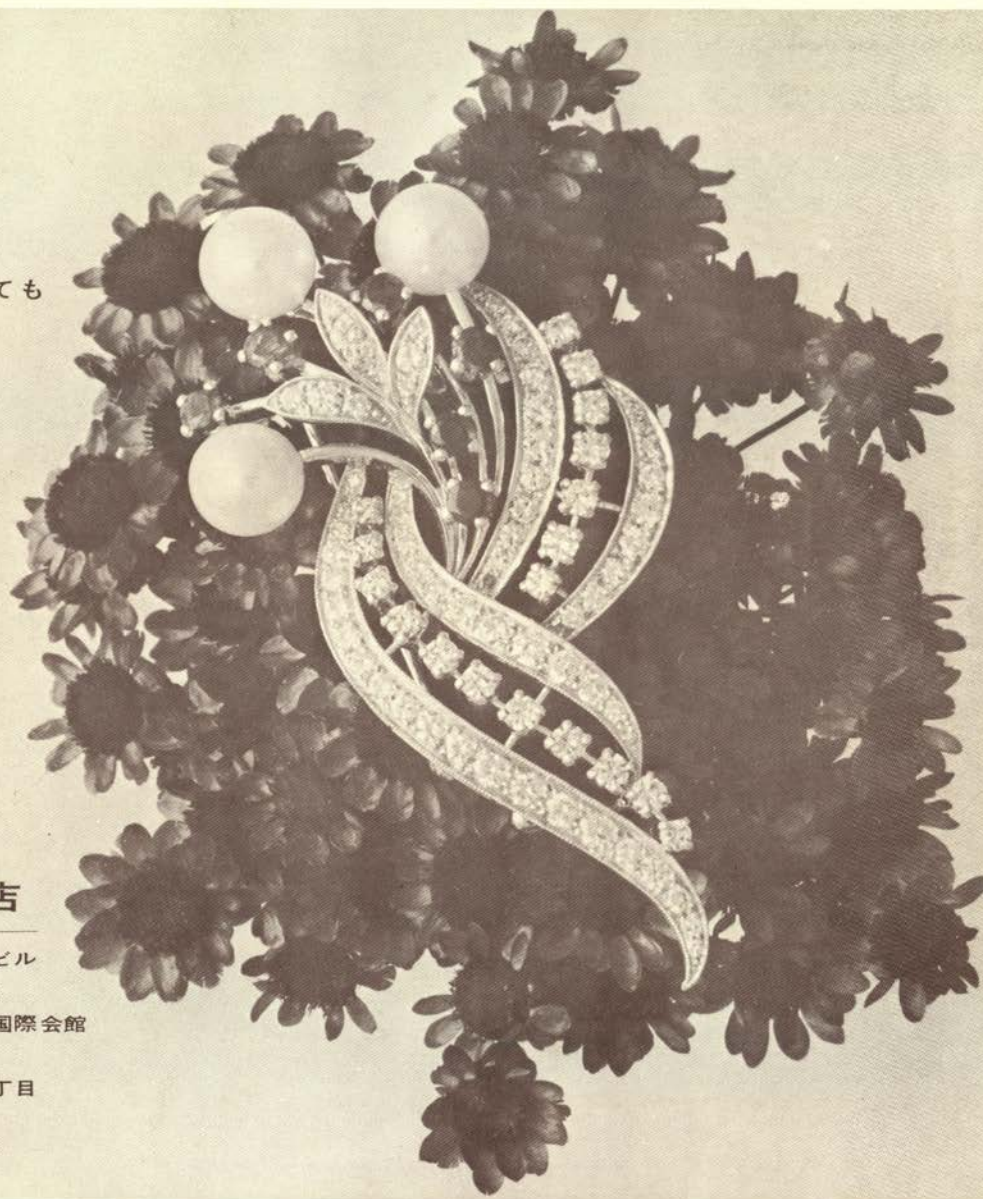
言葉です

そして

ミキモトパールは

あこがれと気品の

シンボルです



御木本真珠店

大阪支店＝堂島・新大ビル

TEL. 363-0247

神戸店＝三ノ宮・神戸国際会館

TEL. 22-0062

★本店＝東京・銀座四丁目

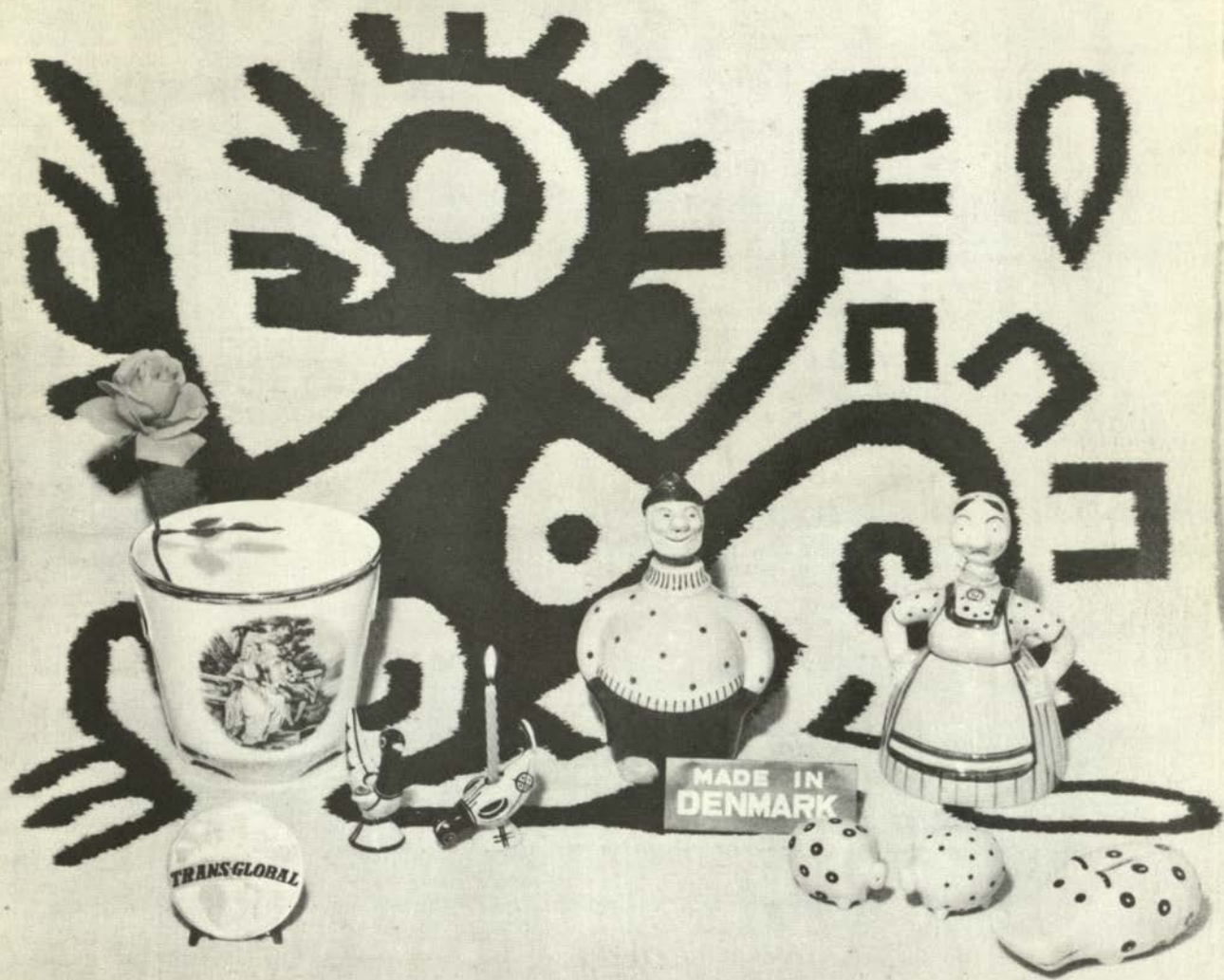
これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたの心の中に楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ。これは神戸っ子の心の手帖です

W. In. Yaka

トランスグローバル

本社★神戸〈22〉2603営業所★東京・名古屋

特約店★クロス★トーア・ロード〈39〉1781



神戸っ子アングル

鳳

鳳(オオトリ)蘭

〈宝塚歌劇団星組〉

撮影／春田佳章
書／山路 梓

ジバンにセーターで踊る1位68cmの長身。
宝塚歌劇団ではモチロン男役。研究科3年生が東京公演で安芸ひろみ、南原美佐緒の代役をさらりと演じていらい「タカラスカの王選手」とさわがれはじめた。

塩屋のジュームス山で生まれた生粋の神戸っ子だが、本名、**芝蘭**という20才の中国娘。

中華同文学校を卒業するまでは、美奈川はるみさんのもとでパレーの稽古。タカラスカを観たこともなかった。「芝居も、踊りも、歌も、今はみんな好きですネン。6月4日から10日まで中劇場で新人会。酒井先生の「この世は辛せ」で主役ベルナルドの友人ドンカルロス。初めてセリフもらったんです。うれしいワ。切符買ってくださいネ？」と大きな瞳で、話す表情が面白いほどコロコロ変わる。お嬢さんが多いタカラスカでは人なつっこさも度胸も充分。パンチのきいた、スケールの大きいホープ。現住所は神戸市垂水区塩屋町高尾51。





Tajima
タジマ

*** 宝石店 ***

ダイヤモンドのことならタジマ/元町通2丁目<山側>TEL ☎ 0387・2552
タジマの特典 当店でお買上げのダイヤ指輪は販売価格で引取り交換をお約束しております



ヒスイ白金ダイヤモンド入りネックレスとイヤリング

確信をもってタジマの目を選んだ世界の宝石の名品!

はな

松原貞夫

〈梅田コマスタジアムKMT〉

撮影／春田佳章
書／山路梓

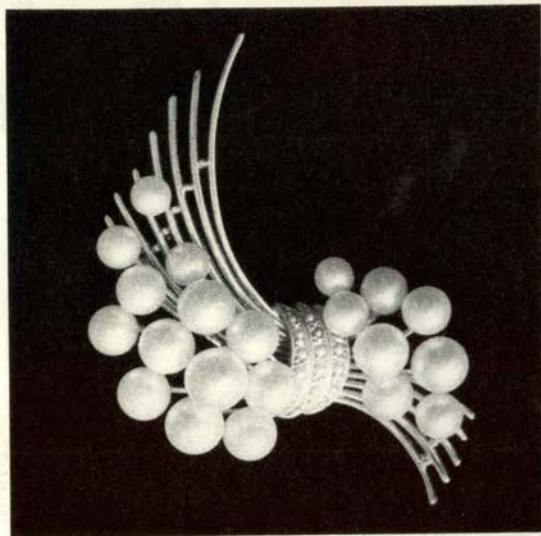
梅田コマが8月に10周年を迎える。五月にはレインボー大賞大阪府民劇場奨励賞、テアトロ賞をうけた「五月の花」の記念公演。彼は、梅田コマダンスチームのチーフダンサー。明るいゲイナミックな踊りには定評がある。

「ダンスは女っぽいものというイメージがあるでしょう。だけど日本男児であるからには、勇壮な踊りで、日本の男性の心を踊りたいですね。昨年東京のリサイタルで、高知の鏡村、ハス村に残る真剣を使って踊る民踊をダンスにとり入れた。

三年前の渡米以来「本場ブロードウェイのものに対抗するには、人のフンドシで相撲をとっていちやあダメ。自分のものを出さなくては」と考える。日本人だから、日本の男性的な民踊をアレンジして、いつかブロードウェイで勝負したいというのが夢だ。鳥取の傘踊りを十八番にしてしまった実力が花咲く日も遠くあるまい。東京生まれ、32才。現住所宝塚市武庫山787。夫人は元宝塚歌劇団の築紫まり。



Pearls by Tasaki



Tasaki

優雅な美しさをそえる
タサキパール

田崎真珠

本社・神戸市灘区旗塚通6-9
三宮店・神戸新聞会館秀品店内
銀座店・東京銀座西6丁目
ヒルトン店・東京ヒルトンホテル内
オータニ店・東京ホテルニューオータニ内
札幌店・札幌ホテル三愛内
養殖場・長崎県・佐賀県・熊本県・島根県・山口県

このモトクロスレースを
 観ると男性的な醍醐味にとり
 つかれるそうだ。カワサキ
 モトクロスチームは明石の
 川崎オート販売KKを本拠
 地に活躍する超一流選手ぞ
 ろいのチーム。全国を股に
 かけて試合にいとむ選手た



ちは整備員とガツチリ手を
 くんで、オートバイに生命
 を賭けている。メンバーは
 神戸木の芽会とカワサキコ
 ンパットが中心で、平均年
 令19才〜20才という若いゼ
 ネレーション。全日本のチ
 ャンピオンをめざし、オー
 トバイの本場ヨーロッパ遠
 征実現を夢みる、期待され
 るチームである。写真左一
 人おいて岡部能夫、歳森康
 師・一人おいて山本陸・星
 野一義。

——本文十六頁参照——

ある激しい
 カワサキ
 モトクロス
 チーム



Murata Pearls

気品とすずしさを
夏のあなたに



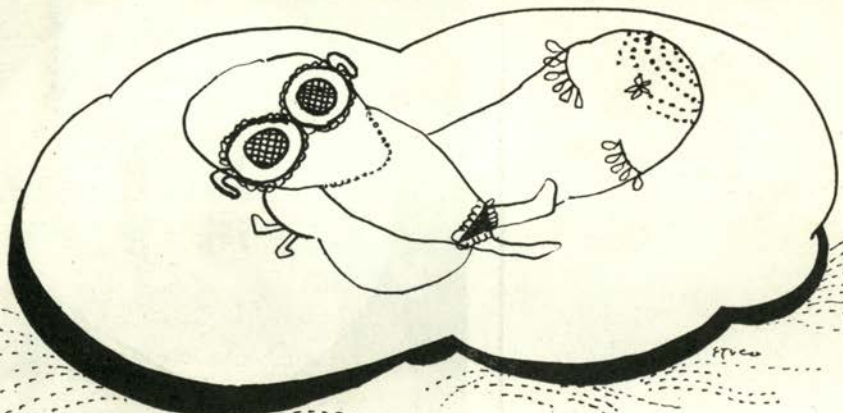
村田*真珠/銀座山岡*毛皮/舶来婦人服飾



さんちか*レディスタウン・TEL. 39-3886-7

7 月号目次

- 1 Second Cover / 津高和一
 3 グラビア / 神戸。子アングル・踊る
 撮影・春田佳章 / 風蘭・松原貞夫
 7 グラビア / ある集い。「カワサキ・モトクロス・チーム」
 わたしの意見 / エリゼ・ユハイム
 11 随想四題 / 神戸の裏道 / 青山政吉
 エマラルドの街をゆく / 林千秋
 12 県立美術館への提言 / 赤根和生
 モダンアートミュージアムへの夢 / 三杉隆敏
 ある集いその足あと
 16 随想 / 二十七年ぶりのアメリカ / 古林善策
 19 トア・ロードの想い出 / 佐藤愛子
 21 私の神戸 / 藤本義一
 23 神戸っ子対談 / 田中寛次・南部圭三
 27 経済ポケットジャーナル / オフィスレディ
 31 神戸ドキュメント⑥
 十円寿しに賭ける / 田中忠雄
 33 オンデイヌの舞台うらから
 38 映画のこと手当り次第⑨ / 淀川長治
 コニチワ船長さんおきく人 / 玉奥章
 40 灯台のあるホテル / 網代甲子朗
 44 神戸遊戯誌④水泳② / 青木重雄
 46 動物園飼育日記② / 亀井一成
 48 東南アジア学生奇術さまぐれ旅行② / 福岡康年
 50 マドモアゼル神戸 / 福富芳美
 52 髪 / 西野明
 54 特集 / やんぐたいむ・いん・コウベ
 57 座談会 / 前進する神戸の文化運動
 69 竹中郁・津高和一・十河巖
 71 陳舜臣・田中健一郎・貝原六一
 80 INGコーナー
 れんさいマンガ⑥ / ベッコ・永井文明
 83 神戸うまいもん巡礼 / ノ・ま / 赤尾兜子
 84 紳士入門最終回 / 竹田洋太郎
 86 ポケットジャーナル / 花時計 / 百店会だより
 88 異人館物語第二話 / ヘルマン屋敷の巻
 94 シーメンス事件第三回 / 小山牧子
 104 連載小説第五回 / 兵庫の女・武田繁太郎
 109 グラビア / 追憶 / カメラ・緒方しげを
 121 グラビア / 神戸銘店抄・陳舜臣
 表紙 / 小磯良平・カメラ / 米田定藏
 レイアウト / 中辻悦子



人を愛して 仕事を愛して

*わたしの意見

エリーゼ・ユーハイム

△ユーハイムKK社長▽



——神戸の街をどうご覧になりますか。

「この街は大好きです。私はとくに空気に敏感なたちですから、山の緑にかこまれ自然に恵まれた神戸の街の空気がスゴク美味しいですね。私は朝起きると今日の空気が美味しいな、とか、今日の空気が少し湿っているな、とか感じますよ。私が神戸に来たのは関東大震災で避難してきたのがはじめてなのです。偶然が私と神戸を結びつけてくれました。」

アア、神戸の街はとても地震がすくないですね。

そこがとても気に入っています。地震では横浜でヒドイ目に会いましたから………地震はホントにこわいですね。

それと戦争。殊に戦争は人間の手でひきおこす争いですから、地震よりもモットモット悪いですね」

——お菓子づくりに一生をかけられて、このほど勲章をいただかれたそうですが。

「お菓子づくり五十年、業界につくしたということと社会福祉に尽したということで勲五等瑞宝章を授けられました。本当に嬉しくて、嬉しくて。お菓子をつくるときの私のモットーは決してゴマカシはしないこと。原料はみんな純粋なものを使ってつくります。人間の生長、発展にも役に立てなくてはイケマセン。その意味からも手づくりの味を大事にして食べてくれる人との心のつながりを、と心がけて努力しています。ユーハイムというのはユフ・ハイム——楽しい一家——という意味があります。その名のとおり楽しい世の中になってもらいたいと願ってすこしでもお役にたてば、とできるだけのお手伝いをしてゆきたいと思っています。私はよくみなさんに、エリーゼさんはホントにいつまでもお若いですねといわれますが、人を愛し、仕事を愛し全身を仕事にうちこんで、今でもヒマを見つけてはお店に立っています。日本人とドイツ人はよく似ていて共に勤勉です。好きな仕事をもってそれに情熱をかけるのが私がいつまでも若々しくいられる原因でしょう」



神戸の裏道

青山政吉 ハカットも

ふと「今年も年中咲く花を次々
追いかけて写生しようかな」とつぶ
やいたら「まあ、なんて結構な
人！」とマダムは言いました。で
も結構なのは神戸っ子でしょうと
も言いたくなります。割合に大き
な町なのにすぐ山のおとこに入
れる地形つまり再度山、白川郷、
布引などこんな山に縁ある町は
世界中でもそうざらにないでしょ
う。特に晩秋の再度山の錨山鉄塔
までの自動車道より西の山を見た
色合いは、まるで英国風の織物み

たいな重厚そのもので、その落葉
樹の色綾は六甲山中こが白眉で
はないでしょうか。その十一月を
過ぎた頃山手学園を過ぎ奥深く入
った再度山の谷間のありさまはフ
ランスの落葉林すら及ばぬくらい
でその佻しい静けさの中にもふく
まれたある華やかさ、そして東洋
的なたずまいこそ中国、欧州と
てなく日本独特いや神戸特有の美
しさだろうと思わずため息をつく
ありさまです。

大山寺：これとて神戸に近い山
しかも表道。そして、皆のゆく板
宿からバスで門前まで直行するイ
ンスタントな便利で勞しない道は
あまり好みませんが、昔の人が寺

参りしたように峠をこえる道。つ
まり今なら奥畑からの山道こそ、
心ゆくばかり楽しい道だろうと思
います。この道は秋もよし、また新
緑のそれにまた七月のさんさんと
照る太陽を面に浴びて汗ふきふき
登るのもよく、別段とりたてて変
った道でもありませんが、峠まで
の道の目の前に次つぎと現われて
くる樹々のありさまを見ていても
その一つ一つがとても楽しいのは
まったく静かな山道のせいでもあ
りましょうか。特に初夏の裏葉の
あの魅力的ななまめかしさ、まる
で乙女の肌に似た淡泊で美しい感
触の色合いは全くほれぼれいたし
ます。こうした峠までの風物はご
く近接したものの美しさに眼をう
ばわれどろろして思わず山道も登り
切ることが出来ます。が、さて峠
の近くになりふと振り返りますと
今までの道のありさま、また、流
れる雲の愁いなどを見ると、なに
かの感傷が胸をしめつけるよう
です。しかもいよいよ峠を越えます
と今までの景色とはがらりと変
り、はや眼の前に近い樹木などの
魅力よりはるかに遠い彼方の行先
や平地などがはつきりとひろが
り、ああ人生も峠を越すと近くを
見ず遠きを見るものかなとふと思
います。もはや横道とてなく一氣
に山を降り広い田の一面に拡が

るあなたに太山寺の塔が福よかな山を背にくっきりと見えます。こんな風景こそ昔そのままなんだろうかとふと涙が出そうになり、やはり裏道を歩いてきてよかったですと思いました。陶淵明の帰去来の詩が思わず胸に浮かび本当に神戸はよい処、こんなにも多くの裏道がまだまだ手近に残されているのだからとつくづく思いました。それ

れにつけても近代的な広い、きれいな表道を一気に車などで飛ばしたんでは神戸の山の美しさなどふつとんでしまうのではないでしょう。人間同志の間柄だつてそれが晴天の友となるなかれかと言うではありませんか。ましてや自然を友とするならなおさらに一人静かに残された裏道でも逍遙したいものです。

△洋画家二紀会・
夙川短大講師▽

エメラルドの

街をゆく

林 千秋

エメラルドの街ジャイブール。それはインドの首都ニューデリーから、バイクアウント機で一時間インド大陸を南へ下ったところにある。赤い城塞のなかに雑然と、あらゆる商店が密集して、人と背に

こぶのついた牛とがいろいろみだれ、異様な匂いがたちこめている。原色のサリーの女、薄汚れた白のワイシャツを着ながらして、腰にドウテイ(腰巻)をつけた男。摂氏三十六、七度の灼熱の暑さが毎日続き、紺碧の空にとてもサンングラスなしでは過ごせない。

五千人の宝石商人はインドが産出するエメラルドの原石、その近隣の国々から採れる原石を一室に集めて、町全体で研磨加工している。研磨は動力は全然つかわないですべてハンドメイド。幼稚な原始的な方法である。加工場では白いふとんが敷きつめてあつて子供から(十才ぐらい)大人(動ける可能性のある人)までが磨きたいときに磨き、つかれるとそこにゴロリと寝るといふ気ままなんびりした仕事をしている。

町の中心にあるマーケット。ここも加工場と変わりなく、白いふとんを敷きつめて、枕をそばにおいて、お膳のような小さな机がおいてある。その上で商売を初める訳だがチャンと冷房だけはきいているので室内はさわやかだ。中央のどっかい金庫から、ごっそりと大量のエメラルドの包みを持って来て机の上で二つ二つ見てゆく。とてもなく高いもの、品質のわるいものが多く、われわれの希望する

品質のエメラルドをさがすために精力的にどンドン見たが、どうかすると彼等のスローペースに巻きこまれて困りはてた。もっと早く大量の品を見せるように頼むと、「インド人は一日二時間しか働かないんだ。君らのペースに合わせよう」と。そこをおし切つて毎日十時から六時まで(昼食と昼寝で三時間あく)四日間相手になつてもらつた。

二日すぎたからやつと希望の品にめぐりあえた。しかもその間にブローカーが私の好みをのみこんで町に出かけてゆき探してきては入れ変り立ち変り見せてくれる。彼等は巾着のような袋を持つか、胴巻きをして運んでくる。とり引きはすべて英語。高い値段をふつけて来て、高いと云うと「オフアーセよ(値段を下げろ)」という。値をつけるとまた値引き。じわじわと値を下げる。品に妥協しても値段には妥協しないという信念でワン・プライスで押し通した。三日、四日になると私の気持を察したか、かけ値なしになった。やっと予定の買付には成功。しかし肉も魚も米も食べられず、ジャガイモにサンドマメのカレーの煮付やスープに、唐辛子のきいた薄いせんべいを食べる。酒も売ってない。BARもない。聖人君子の四日間

だが、マンゴのスープと美味しい紅茶が旅情をなぐさめてくれた。だが、最大の魅力はなんといってもエメラルドのグリーンだったのである。

タジマ商事KKV

県立美術館に望む

赤根和生

美術館建設問題がようやく具体化してきた時、金山平三氏の遺作が県に寄贈されることになったのは何といっても喜ばしいことである。ユニークなコレクションを持たない、単なる貸会場としての美術館ほど無意味なものはないし、ぞくぞくと誕生する地方美術館の殆んどが建物だけ作ってそれっきり貸会場に墜してしまふ例が多いだけに、兵庫県の美術館が初めからこうした収容すべきコレクションを中心建設されるということはおもっとも理想的なスタートだといえよう。

先日講演に招かれて初めて訪れた和歌山県立美術館は城趾の一角に位置を占める四百平方米(百二十坪)ばかりの瀟洒な建物だが、既に開館後三年の実績をもち、その運営にもなかなか積極的な動きを見せている。こんど郷土の画家故石垣栄太郎氏の代表作二十余点の寄贈を受けることになり、名実と

もに近代的美術館になりますね、と館長と話したのだが、地方美術館としては、それぞれ郷土出身の代表的作家のコレクションをもつこと位は最低条件として充たしたいところである。かつてわたしは、ないものねだりに次々と各地に生れる何ら特色のない形骸的地方美術館を、駅弁大学をもじって「駅弁美術館」と書いたことがあるが、こんな美術館が数の上で幾ら増えても全く無意味なのである。わたしはこうした、地方美術館の在り方、そして兵庫県に生れるべき美術館については、これまでいろいろな機会にわたしなりの意見を述べてきたが、要約すると先づ第一にこうしたコレクションは死蔵することなく必らず常陳することとして、そのためのスペースを初めから予定しておくことを要望したい。いつ行っても見られるということが絶対必須条件である。

また、予算面でも建物だけ作ること足れり、とするのではなく年間購入費も必らず計上して、収蔵品の充実を図るべきである。

毎年の県展出品に買上賞を附することも試案として挙げておきたい。問題は建物自体だけでなく運営の是非にあるのだから、館長には有能な専門家を据え、運営委員をおくべきである。以前わたし

は、建物よりも先づ信頼すべき館長を任命し、建設プランその他の一切をその人のビジョンに委ねるべきだと主張したが、この考えは今も変らない。

建物としては、現代美術館の実態に則してステージをもつホールや集会室を完備すべきだが、建設プランも特定の人のものを鵜呑にするよりも、コンベルによって、神戸にふさわしいフレッシェンユな案を広く募りたい。既存の建物の転用は極力排除すべきだ。敷地は絶対都心でなければならぬが、敷地難を打開する意味でも、例えば東遊園地など地上の空地はそのまゝ、のびのびと広い駐車場つきの地下美術館はどうだろうか。今日の美術館は天然光線を必要としないし、美術館が地上でなければならぬ絶対的理由はないのだから。実現すれば世界最初のものとなるろう。

△美術評論家▽

モダンアート

ミュージアムへの夢

三杉隆敏

兵庫県にも、モダン・アート・ミュージアムが建つということを目にしたとき、ニューヨークのデデン虫みたいなグッゲンハイム、パリのモダンアート・ミュ

ジウム。野球のベンチボックスみたいな神奈川県立近代美術館、コルビジエの上野の国立西洋美術館を始めとするあちこちの美術館が私の頭をよぎった。

でもどれくらい予算だろう、若したくさんあればオモシロイのを作って見たらノ

日本の国ではまだ、停電の心配をせねばならないのだろうか？
始めてアメリカを旅したとき、驚いた。自然光線にたよって品物を見せるのは、もう時代遅れだったことを。

春、夏、秋、冬、朝な夕な光線が変る。その光を受けて、青磁の色は微妙に変る。新緑の季節。「青磁の色が少し緑っぽく見ええるようにですね！」なんて話しあって美術品を見るのにも季節感を折りこんで楽しんで来た日本人には、一寸ショックなことだ。

「変化する自然光線より、人工で最も良い状況の光線を作り、安定した光の中で物を見せる、これが私達のやりかただ」とアメリカの博物館員はおっしゃった。

「建築から窓を追います。これは一寸した大事件だ。彫刻のように勝手な形の物が作れる。それではひとつオモシロイ形の美術館をたてよう。兵庫県さんどうでしょうか？」

「そんなお金ありませんよ」といわれるかもしれない。「それだったら、今少しプランがあると聞く、旧県庁の建物、あの明治スタイルを残す線で行きましょう。但し、私がトロントの博物館で見たように、あの窓をレンガでふさぐようにしては、内部は人工光線でグッとモダンに、そして外は明治スタイルで」

「良い美術館」ってなんだろ。建物の良い所・所蔵品の良い所・良い特別展をする所・等々。どうもそれぞれが美術館に対して持っているイメージが異なっているようだ。新聞屋さんには良いというより、沢山入場者があってモウカル展覧する場所がほしい。絵描さんは自分達の展覧をするところがほしい。学者は「いや県下にも沢山、考古資料や古美術がありますよ、その陳列する場所もないのだから」とおっしゃる。

とはいえ美術館を運営するって大変なことだ。そして、お金もたくさん必要だ。

良い所蔵品が沢山あること。県民のミュージアムであれば、県出身の作家の常陳された部屋がいくつかに必要だ。それに若しあれば絵だけでなく資料的なものも。それらを保存する大きな収納庫（防湿防虫）もある。それと特別展ので

きる大ホール、しかし春、秋に特別展をやらねばならないというような美術館活動も、どうやらもう古い。冷、暖房をして何時でも美術館ではコンフォタブルに品物が楽しめるべきだ。欧米で「冬は博物館の季節だ」といわれた時は、一寸ビックリしましたね。それに公開した図書室も必要だ。図版を切りとられるようなこと、今でも心配があるのだから、道徳教育の問題だが。絵画教室みたいなものも必要だ。でもそんなことが充実したら、きっと多からず、少なからずの人達が、美術館を四季を通じてコンスタントに訪れるだろう。特別展の時のみに訪れる場所であったり特別展を催すことのみを考えているようなことでは良い美術館は作れない。それと入場料は無料がいいですね。米国は全部タダ。欧州のいくつかは土、日の大衆がたくさんくる日はタダ。他の日は少しだけ、木曜は入場料が高い所がある。それは高いお金をはらっても入場者の数の少ない時にゆっくりと美術を鑑賞しようという人のための日である……。

× ×
なんでも物を創ることに夢がある。ひとつ兵庫県のモダン・アート・ミュージアムに私の夢を託そう。 〽中国美術研究家〽

★★★ある集い★その足あと★★★



カワサキ

モトクロス

チーム（グラビヤ七頁参照）

モトクロスとは、モーター・カントリー・クロスの略。この競技はオートバイのレースのなかでも山の上に坂あり、谷あり、小川ありというはげしいコースを作り、そこを50キロぐらいのスピードでジャンプし走る、最高に男性的なスリリングなスポーツだ。

雨が降ろうと、道がドロコであろうといとわれない。スポーツと呼ぶのは、こういった競技につきもののギャンブルにはとんと縁がなく、男性的な競技の醍醐味に終始するからである。

カワサキモトクロスチームは、日本でも屈指のチームとして定評があり、ライダーのほとんどが優勝を経験している。今や「赤タン

クのカワサキをマークせよ」というのが他のチームの合言葉のようになっている。ライダーはまだみな若く、平均年齢19〜20才という若々しさ。これからの楽しみな選手ばかりだ。今までの全日本モトクロス大会のレコードを拾い上げると、山本隆（22才）39年度15cc優勝、梅津次郎（20）39年度250cc優勝、岡部能夫（20）40年度15cc優勝、星野一義（18）40年度90cc優勝、歳森康師（19）40年度GPレース2位。この歳森選手は、神戸木の実会に所属し、スピードレースを最も得意としている。

ここで神戸木の実会とカワサキコンバットについてご紹介しよう。神戸の裏山にゆくとマフラー音を響かせて暴れているカミナリ族に出会う。神戸木の実会の結成もオートバイに魅せられた片山芳美（31）の熱意に端を発している。片山はもうこの道十年のベテラン選手で全日本選手権スピードレースのチャンピオン。世界的にも有名な神戸っ子ライダーである。第一回鈴鹿レースで、当時ヤマハ三五〇ccクラスで優勝。彼の技倆をしたって集まって来た歳森をはじめ優秀な若手ライダーを育てあげている。

またカワサキコンバットの三橋実も第一回鈴鹿で二五〇ccに優勝したベテラン。山本をはじめ若い

世代の育成に力をつくした。カワサキモトクロスチームはこの両者のなかでモトクロスレースに席を置いた人たちが集まって昭和三十七年暮れから本格的に結成されて、カワサキオートバイ販売KKに属するチームとして行動を初めたのである。

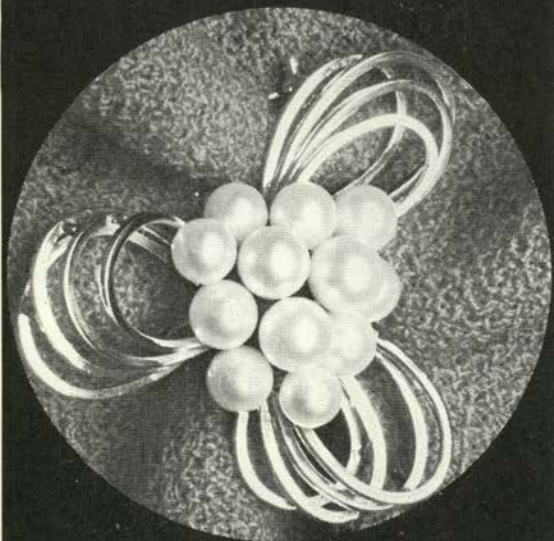
レースは四国、東北、富士山麓など全国をまたにかけて開かれる東北地方にゆくと五万、六万とファンが集り熱狂的。すさまじい音だからもちろん、人里はなれた自然の雄大な山中で開かれる。これもモトクロスレースの醍醐味の重大な要素。スタートは50台の車がゴールに入るときには10台残ればいい方だというキビしいレース。その上整備員とガッツリスクラムをくんでのレース成績が仕事と結びついているから面白半分ではすまされない。死にはしないが、骨を折ったり、ケガをしたりはしばしば。町のカミナリ族とはちよつとわけがちがうのである。

加古川の河原で敵しいトレーニングに打ちこむライダーにも夢がある。それは日本のチャンピオンから、オートバイの本場ヨーロッパの檜舞台で、外国の一流選手と技を競いたいことだ。

オートバイが飯より好きな連中はばかり。その上若いときている。欧州遠征をめざして、チームのはりきりぶりは楽しみなことである

Kitamura Pearls

世界の人々に愛される
キタムラパール



北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL 33 0072
オリエンタルホテル店 33 8111 EXT. 331
東京：スキヤ橋店 TEL (571) 8032

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店 / 三宮センター街・電話 33-8836 (代)
東店 / 三宮センター街・電話 33-0629
三宮店 / 三宮地下街・電話 39-4303

東京

新橋店 / 新橋2丁目・電話 571-0807
銀座店 / 京阪神銀座タウン・電話 572-4847 (直)
(西銀座7丁目・並木通)



LONGINES

ロンジンをおもとめのときには
神戸でもっとも豊富にロンジンの
そろったさんちかファンシータウン
美田時計店へおこし下さい



特約店

美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798

三宮店・三宮地下街 TEL33-8798

北欧の銘菓

ユーハイム コンフェクト



バウムクーヘン
〈ピラミッドケーキ〉
クッキー
ムンデット
シモン
デビルドチーズビスケット
各種高級洋菓子



本社・工場/神戸熊内町1丁目 TEL22-1164・9865

熊内店/(市立美術館東隣)

三宮店/神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL33-7343-0156・4314

神戸デパート店/長田区大橋5丁目 TEL61-2101

甲子園店/国鉄甲子園口駅(北口)・芦屋店/国鉄芦屋駅前通・堂島

営業所/大阪堂島中町ビル地階・梅田店/大阪梅田地下センター・

栄町店/名古屋栄町ビル地階・千種工場/名古屋千種区若水町・大

丸店/神戸・京都・阪急店/神戸・大阪・三越店/神戸・丸栄店/

名古屋・オリエンタル中村/名古屋・大阪国際空港・神戸鉄道弘済

会・丸物店/岐阜